

2010年5月11日

NEWS RELEASE



株式会社アマダ
広報・IR部

TEL:0463-96-3105 FAX:0463-94-9781

URL: <http://www.amada.co.jp>

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200

中国市場の拡大へ切削・工作機械事業を再編 製造および販売会社を設立

アマダ（社長 岡本 満夫）は、中国市場において切削・工作機械事業を再編、両事業の拡大に乗り出す。その第1弾として帯鋸盤の製造会社を中国企業と合弁で設立する。さらに年内に販売会社をアマダの全額出資で設立し、製販両面から体制の強化をはかる。3年後の中国での同事業の売上を4倍弱の100億円にする計画である。これまでの中国戦略を抜本的に改めることから今年を“中国元年”とし新たなスタートをきる。総投資金額は15億円。

製造新会社は、現地企業・連雲港机床廠有限公司（連机）（江蘇省連雲港市、董事長 单宝毅氏）とアマダの出資で設立するもので、社名は「天田（連雲港）机床有限公司」。資本金は2億2000万円で、出資比率は連机75%、アマダ25%。設立は2010年6月で7月より生産を開始する一方、新たに連雲港市内に延べ床面積4,536㎡の工場を建設する。建設・設備費は2億円。

新会社の設立により従来台湾で生産していた帯鋸盤の生産を中国移管する。台湾の生産会社は清算する予定。中国新会社での生産は各機種あわせて月120台（2012年目標）。新会社の従業員数は80人。

帯鋸盤の生産を中国本土に移すことにより、市場にあった価格での販売が期待でき、従来の台湾工場からの供給先である欧米、更に日本生産を中止し日本への供給など、中国からの輸出が大幅に拡大し、収益の向上と合わせてグローバルでの競争力強化が見込める。

この新会社設立とあわせて、アマダが天田香港有限公司と中国企業、連雲港机床廠有限公司（連机）との合弁で1994年12月に設立した消耗品・鋸刃の生産会社「天田連雲港機

械有限公司」(天連)を完全子会社(100%出資)とした。資本金は6億2,000万円。

消耗品生産会社の完全子会社化により経営の自由度を確保し、経営スピードを上げることにより中国及び新興国市場の市場環境変化に柔軟に対応できる体質に生まれ変わる。同時に生産設備の更新、増設を行い、中国市場で30%のシェアを持つ鋸刃の更なる拡販に向けて供給体制を整える予定(投資金額5億円)。出資持分取得手続は昨年9月に終えており、本年度より新体制でスタートする。

一方、切削・工作機械の販売会社は年内にも設立の計画で、社名は仮称「アマダマシンツールチャイナ」(AMTC)。帯鋸盤、鋸刃と工作機械を主力商品として取扱い、今までの主な取引先の日系中国進出企業や台湾からの中国進出企業に加え直接現地顧客を取り込む。

中国市場での切削機械は現行売上26億円。この販売実績を3年後には消耗品・鋸刃とあわせ70億円に引き上げる計画。そのために現在325社の鋸刃代理店を400社に増やし、拡販に取り組む。また、工作機械は今まで実績がなく今後代理店網を整備することから始め、3年後の売上高30億円の達成を目指す。

以 上